

<概要>

これまで保健所や各対応班が個々に管理していた情報を、システム（サイボウズ社 **kintone** を活用）へ集約してリアルタイムに共有し、入院調整等の対応を迅速化する。また、患者の健康観察をオンラインで実施し、患者・保健所双方の負担を軽減する。

<本システムで実現されること>

①病院等施設への入院受入調整の迅速化（施設の空き状況を一覧化し共有）



病院等の空き状況を一覧化



入院受入調整の迅速化

②患者・医療機関・自治体等の負担軽減、情報共有の効率化

(1) 健康観察のオンライン化（負担軽減）



患者

体温、症状等を報告



医療機関・自治体

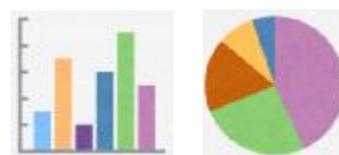
変化を把握し迅速に対応

(2) 医療機関・自治体等が患者の状況（入退院履歴、症状等）をリアルタイムに共有



3月〇日 発症
4月〇日 入院(A病院)
4月〇日 転院(B病院)

入退院履歴・症状を管理



患者・症状を集計し見える化

<導入時期>

- ・4月20日（月）から大阪府では稼働開始
- ・府内市町村においても、当該システムの導入に向けて、順次調整